

プログラム 10月31日(土)

10月31日(土)
プログラム

会場 (ホテルニューオータニ博多 4F 鶴の間 (西・中))

8:50~9:00 会長挨拶

今福 信一
福岡大

9:00~11:00 シンポジウム 1 「西部支部の研究第一線」

座長：澤田 雄宇(産業医大)
佐藤 絵美(福岡大)

- SY1-1 Dual roles of Interleukin-17D in skin diseases
Yuping Lai
School of Life Sciences, East China Normal University, Shanghai, China
- SY1-2 創傷治癒の未来を切り拓く 皮膚再生の新戦略
武藤 潤
愛媛大
- SY1-3 DOCK8 研究が切り拓く新しいアレルギーとアトピー性皮膚炎の病態理解
山村 和彦
九州大
- SY1-4 角層脂質の多次元情報解析が拓く皮膚バリア研究
酒井 貴史
大分大

11:10~12:10 特別講演 1

座長：今福 信一(福岡大)

- SP1 *In vitro* 水痘帯状疱疹ウイルス研究からの展開を目指して
定岡 知彦
藤田医大感染症研究センターウイルス感染動態研究部門

12:20~13:20 ランチョンセミナー 1

座長：新熊 悟(奈良県立医大)

- LS1 創傷治癒を“待つ”から“治す”へ～表皮水疱症治療の新時代～
森坂 広行
大阪大

共催：クリスタルバイオテック・ジャパン株式会社

13:30～15:30 会長企画シンポジウム 「臨床研究の未来」

座長：今福 信一(福岡大)
有馬 久富(福岡大衛生・公衆衛生学)

- PSY1 臨床研究の現在：RCT からリアルワールドデータまで
有馬 久富
福岡大衛生・公衆衛生学
- PSY2 皮膚科領域で知っておきたい治験の基礎と GCP—CRC の経験から考える治験の実際—
菅井 悦子
イーサポート株式会社
- PSY3 西日本乾癬レジストリのこれまでとこれから
鶴田 紀子^{1,2}
¹福岡大、²西日本炎症性皮膚疾患研究会
- PSY4 医療 DX を用いた臨床研究のこれから
吉田 陽一郎^{1,2}
¹福岡大病院医療情報部、²福岡大病院消化器外科

15:45～16:35 アフタヌーンセミナー 1 「外用療法の今、これから ～アトピー性皮膚炎・乾癬～」

座長：山本 剛伸(川崎医大)
佐伯 秀久(日本医大)

- AS1-1 乾癬治療におけるブイタマー[®]クリームの活かし方
新井 達
聖路加国際病院
- AS1-2 アトピー性皮膚炎診療における外用治療 ～治療用 AhR 調節薬の特性を考える～
中原 剛士
九州大

共催：鳥居薬品株式会社

16:45～17:45 特別講演 2

座長：中原 剛士(九州大)

- SP2 脊髄における皮膚感覚の情報処理メカニズム
蜂須賀 淳一
University of Glasgow, School of Psychology and neuroscience

17:55～18:45 文化講演

座長：今福 信一(福岡大)

- CL めんべい誕生物語と食都福岡の魅力
山口 智太郎^{1,2}
¹株式会社山口油屋福太郎代表取締役、²八木病院整形外科

18:45～18:55 記念写真撮影

▶ B 会場 (ホテルニューオータニ博多 4F 鶴の間 (東))

9:00～11:00 シンポジウム 2 「神経線維腫症Ⅰ型 (NF1) 診療における多職種連携とチーム医療 (MDT)」

座長：吉田 雄一(鳥取大)
古賀 文二(福岡山王病院)

- SY2-1 NF1 とカフェオレ斑患者で見られるバリエーションについて
筒井 ゆき、古賀 文二、今福 信一
福岡大
- SY2-2 発達からみる NF1 診療—小児科の役割と多職種連携
武内 俊樹
岡山大小児発達病因病態学
- SY2-3 神経線維腫症Ⅰ型診療における整形外科の役割
松本 嘉寛
福島県立医大整形外科
- SY2-4 皮膚科領域の神経線維腫症Ⅰ型 (NF1) 診療の現在
吉田 雄一
鳥取大

11:10～12:10 教育講演 1

座長：名嘉真 武國(久留米大名誉教授)

- EL1 類天疱瘡疾患群の今を福岡から発信する—病態・診断・治療の新展開—
古賀 浩嗣
久留米大

12:20～13:20 ランチョンセミナー 2 「有効性と安全性に基づいた、アトピー性皮膚炎の長期治療戦略」

座長：川村 龍吉(山梨大)
梶島 健治(京都大)

- LS2-1 リアルワールドエビデンスから考察する、日本人でのアドトラザーザ®の有効性と安全性
萩野 哲平
日本医大
- LS2-2 アドトラザーザ®の真の実力は？
武岡 伸太郎
武岡皮膚科クリニック 香川県丸亀市

共催：レオ ファーマ株式会社

13:30～15:30 シンポジウム 3 「アトピー性皮膚炎の治療～成功例、反省例から学ぶアトピー性皮膚炎治療のリアル～」

座長：中原 剛士(九州大)
佐藤 絵美(福岡大)

イントロダクション～アトピー性皮膚炎の治療の基本的な考え方について～

中原 剛士
九州大

SY3-1 外用治療のリアル

田中 暁生
広島大

SY3-2 生物学的製剤治療のリアル

金子 栄
益田赤十字病院

SY3-3 経口 JAK 阻害薬のリアル

竹中 基
長崎大

SY3-4 小児アトピー性皮膚炎治療のリアル

工藤 恭子
福岡市立こども病院

SY3-5 高齢者アトピー性皮膚炎治療のリアル

佐藤 絵美
福岡大

総合討論

15:45～16:35 アフタヌーンセミナー 2 「乾癬診療の守破離～患者に応じた最適な治療戦略とは～」

座長：藤澤 康弘(愛媛大)
辻 学(九州大)

AS2-1 チルドラキズマブってこんなに使われているの？って思いますよね？

—はい、実はそうなんです。

宮城 拓也
琉球大

AS2-2 乾癬診療におけるチルドラキズマブのポジショニング
—有効性と安全性のバランスを考える—

川上 佳夫
岡山大

共催：サンファーマ株式会社

16:45～17:45 教育講演 2

座長：今福 信一(福岡大)

- EL2 分子標的薬と呼吸器感染症～皮膚科診療で役立つポイント～
山本 善裕
富山大感染症科

17:55～18:45 イブニングセミナー 1 「アトピー性皮膚炎/円形脱毛症治療 UPDATE 2026」

座長：久保 亮治(神戸大)

- ES1-1 最新トピックスとリアルワールドデータをもとに考える重症円形脱毛症治療
ーオルミエントの長期成績・安全性・患者選択についてー
大山 学
杏林大
- ES1-2 アトピー性皮膚炎の個別化治療戦略ーバリシチニブが応えられる患者ニーズとはー
杉浦 一充
藤田医大

共催：日本イーライリリー株式会社



会場 (ホテルニューオータニ博多 4F 飛翔の間)

9:00～11:00 シンポジウム 4 「進行期皮膚悪性腫瘍治療の現状と展望」

第 1 部 メラノーマ

座長：高橋 聡(国立がん研究センター東病院)

- SY4-1 本邦での進行期メラノーマ治療の現状
内 博史
九州がんセンター
- SY4-2 アカデミア発の新規薬物療法の開発：From Bench to Bedside
藤村 卓
東北大
- SY4-3 進行悪性黒色腫に対する新規薬物療法の開発～抗 CAPRIN-1 抗体を中心に～
山崎 直也
国立がん研究センター中央病院

Q&A

第 2 部 Non-melanoma skin cancer

座長：永瀬 浩太郎(ながせ皮膚科)

- SY4-4 日本における進行期 Non-melanoma skin cancer 治療の現状
山崎 修
島根大

SY4-5 皮膚血管肉腫と乳房外パジェット病における新規治療の開発
緒方 大
宮崎大

SY4-6 皮膚悪性腫瘍に対する光免疫療法の開発
高橋 聡
国立がん研究センター東病院

Q&A

12:20~13:20 ランチョンセミナー 3 「Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという選択肢」

座長：千貫 祐子(島根大)
藤本 学(大阪大)

LS3-1 アトピー性皮膚炎における寛解導入を目指した治療戦略～サイバインコ®の可能性を考える～
西川 陽太郎
宮崎大

LS3-2 アプロシチニブの用量調節を活かした AD 長期管理戦略
佐藤 絵美
福岡大

共催：ファイザー株式会社

13:30~15:30 シンポジウム 5 「皮膚科ヘルペスウイルス学～研究から診療まで～」

座長：渡辺 大輔(愛知医大)
山本 剛伸(川崎医大)

SY5-1 血清抗体価から考える HSV と VZV の臨床像と生活史
内藤 玲子¹、宮地 素子²、今福 信一²
¹済生会二日市病院、²福岡大

SY5-2 HSV に関する最新の基礎研究と治療
山本 剛伸^{1,2}
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大

SY5-3 VZV 研究の最前線：基礎病態・疫学・ワクチン戦略の新展開
渡辺 大輔
愛知医大

SY5-4 当科におけるヘルペス研究
川村 龍吉
山梨大

15:45~16:35 アフタヌーンセミナー 3 「蕁麻疹診療の新たなステージへ」

座長：金子 栄(益田赤十字病院)
今福 信一(福岡大)

AS3-1 慢性蕁麻疹診療における開業医の役割と実践的マネジメント

井上 知宏
いのうえ皮膚科 宮崎県宮崎市

AS3-2 慢性特発性蕁麻疹治療の新時代：ガイドライン改訂と分子標的治療の進歩

葉山 惟大
日本大

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

▶ D 会場 (ホテルニューオータニ博多 3F アイリス)

9:00~10:00 一般演題 1 「湿疹・皮膚炎」

座長：川上 佳夫(岡山大)
夏秋 洋平(聖マリア病院)

1 デュピルマブで効果不十分のアトピー性皮膚炎患者のレブリキズマブへのスイッチ後、48週間の治療効果

岡部 侑里子¹、萩野 哲平¹、佐伯 秀久²、藤本 栄大³、神田 奈緒子¹¹日本医大千葉北総病院、²日本医大、³ふじもと皮膚科クリニック 千葉県船橋市

2 ウパダシチニブで効果不十分のアトピー性皮膚炎患者のレブリキズマブへのスイッチ後、24週間の治療効果

早川 知里¹、萩野 哲平¹、佐伯 秀久²、藤本 栄大³、神田 奈緒子¹¹日本医大千葉北総病院、²日本医大、³ふじもと皮膚科クリニック 千葉県船橋市

3 痒疹結節を有するアトピー性皮膚炎患者に対するレブリキズマブ 48 週治療の有効性

石原 諒¹、萩野 哲平¹、佐伯 秀久²、藤本 栄大³、神田 奈緒子¹¹日本医大千葉北総病院、²日本医大、³ふじもと皮膚科クリニック 千葉県船橋市

4 Recurrent Neutrophilic Dermatositis of the Face の 1 例

関 千彰、小池 雄太、岩崎 悠花、金子 華子、里見 直義、服部 尚子、室田 浩之
長崎大

5 重症アトピー性皮膚炎を合併したルビンシュタイン・テイビ症候群

梶原 彩加¹、佐藤 絵美¹、岡本 雄太²、今福 信一¹¹福岡大、²福岡大精神科

6 生物学的製剤 (Bio) の投与を中止・中断したアトピー性皮膚炎 (AD) 患者における外用剤治療の有用性：レセプトデータベース研究

常深 祐一郎¹、岸田 百世²、李 開理³、五十嵐 中^{4,5}¹埼玉医大、²マルホ株式会社メディカルアフェアーズ部、³株式会社データックRWE事業部、⁴一般社団法人医療経済評価総合研究所、⁵東京大大学院薬学系研究科医療政策・公衆衛生学

7 インフリキシマブ治療中の Crohn 病合併難治性アトピー性皮膚炎に対し dual biologic therapy を行った 1 例

石川 優太¹、山手 朋子¹、広瀬 晴奈¹、波多野 豊¹、江口 英利²、石川 浩一²

¹大分大、²津久見中央病院外科

8 乾癬治療中に増悪した脂漏性皮膚炎様皮疹の 1 例

新堂 友梨¹、山筋 好子¹、指宿 敦子¹、米倉 健太郎²、江川 形平¹

¹鹿児島大、²今村総合病院

10:00~11:05 一般演題 2 「薬疹・中毒疹」

座長：井上 卓也(佐賀大)

新原 寛之(島根大)

9 下顎部皮膚潰瘍として発見されたデノスマブによる薬剤関連顎骨壊死の 1 例

尾関 隆広¹、安井 由希子¹、足立 潤哉²、西尾 栄一¹

¹豊川市民病院、²豊川市民病院歯科口腔外科

10 当院における免疫チェックポイント阻害薬による皮膚障害

松本 美帆¹、山北 高志¹、岩田 洋平¹、河田 健司²、杉浦 一充¹

¹藤田医大、²藤田医大臨床腫瘍科

11 切除不能な肝細胞癌に対しレンバチニブ投与中に生じた壊疽性膿皮症の 1 例

國方 江実¹、飛田 泰斗史¹、桑山 泰治²

¹徳島赤十字病院、²徳島赤十字病院消化器内科

12 成人 T 細胞白血病患者に生じた mogamulizumab-associated rash の 1 例

前田 さくら、加来 洋、笹平 摂子、古賀 浩嗣

久留米大

13 ブリグチニブにより生じた薬剤性光線過敏症の 1 例

荒谷 優里奈、中島 有香、福永 淳、森脇 真一

大阪医科薬科大

14 周術期のアナフィラキシーショックの 3 例

浦上 仁志、千貫 祐子、三原 崇、福代 通人、山崎 修

島根大

15 de-labeling を成し得た薬物アレルギー疑いの 3 例

真鍋 公

函館医療センター

16 薬剤過敏症症候群との鑑別を要した炭酸リチウムによる薬疹とパルボウイルス B19 感染症の併発例

三宅 瑠、大城 結衣、工藤 真未、下地 志月、宮城 拓也、山口 さやか、柳 輝希

琉球大

17 水疱性類天疱瘡の治療中に中毒性表皮壊死症を合併した 1 例

友永 滯奈、畠中 優、時永 悠生、北岡 明里、青木 奈津子、大湖 健太郎、中井 浩三

高知大

12:20~13:20 ランチョンセミナー 4 「化膿性汗腺炎・乾癬 IL-17A/F 阻害による新たな治療パラダイムー「その先の炎症制御」へー」

座長：渡辺 大輔(愛知医大)
今福 信一(福岡大)

LS4-1 Bio 時代の化膿性汗腺炎治療ー薬物療法と手術のベストタイミングー

前川 武雄
自治医大さいたま医療センター

LS4-2 乾癬病態から考える IL-17A/F 阻害の意義とその効果

多田 弥生
帝京大

共催：ユーシービージャパン株式会社

13:30~14:30 一般演題 7 「角化症」

座長：山本 真有子(高知大)
小池 雄太(長崎大)

51 Mibelli 型と陰茎陰嚢型の中間的特徴を示した孤発性陰嚢部汗孔角化症の 1 例

金武 敬人¹、中川 誠太郎²、石塚 洋典²、野島 聡³、藤本 学²
¹大阪けいさつ病院、²大阪大、³大阪大病態病理学

52 *RHBDF2* 変異を同定した掌蹠角化症の 1 例

金森 由夏¹、信田 理沙¹、杉山 誉人¹、鈴木 貴子²、乃村 俊史¹
¹筑波大、²東京都立広尾病院

53 過角化を伴った Aquagenic Wrinkling of the Palms の 1 例

山崎 佳那子¹、折口 ひかり¹、西村 真衣¹、仁木 真理子¹、村尾 和俊¹、久保 宜明¹、
大島 三佳²
¹徳島大、²おおしま内科皮膚科クリニック 徳島県徳島市

54 ステロイド外用とビタミン D₃ 製剤外用療法中に多発性の表皮内有棘細胞癌を生じた播種状表在性汗孔角化症の 1 例

向井 春香¹、笹岡 佑輔¹、水田 栄樹²、池田 彩¹、爲政 大幾¹
¹医誠会国際総合病院、²針中野みずた皮膚科形成外科 大阪府大阪市

55 アトピー性皮膚炎に汎発性膿疱性乾癬を合併したと考えられた 1 例

山口 賢一、堀畑 健太郎、南 百合菜、竹内 早紀、戸澤 貴久、山田 益丈、伊藤 有美、
小寺 雅也
JCHO中京病院

56 家族性先天性爪甲肥厚症・多発性脂腺嚢腫・化膿性汗腺炎合併例の 1 例

鐘ヶ江 真理子、川崎 朋子、伊藤 亜理紗
JCHO東京新宿メディカルセンター

57 皮膚糸状菌易感染性を示した SDR9C7 関連非症候性表皮分化疾患の 1 例—IRF4/IL-17 経路に関する免疫学的検討—

田尻 真貴子¹、武市 拓也²、Teye Kwesi³、島内 佳奈³、山城 千晶¹、堤 真宏^{1,3}、
夏秋 洋平¹、棚橋 華奈²、石井 文人^{1,3}、濱田 尚宏^{1,3}、秋山 真志^{2,4}、名嘉真 武國^{1,3}、
古賀 浩嗣^{1,3}

¹久留米大、²名古屋大、³久留米大皮膚細胞生物研究所、⁴新百合ヶ丘総合病院

58 間質性肺炎を伴った乾癬 3 症例の治療と臨床経過について

千葉 裕奈子¹、山崎 文和¹、白方 亜令士¹、濱崎 慎平¹、猪股 知微¹、新井 翔¹、
松本 詩織¹、高橋 伸大¹、清水 知道¹、近藤 章生¹、堀尾 幸弘²、伊藤 洋子²、小熊 剛²、
栗原 佑一³、馬淵 智生¹

¹東海大、²東海大呼吸器内科、³平塚市民病院

14:30~15:30 一般演題 8 「血管炎・循環障害、膠原病」

座長：冬野 洋子(九州大)
松尾 佳美(広島大)

60 皮膚症状が先行し重篤な心病変を呈した ANCA 陰性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例
中原 由紀子¹、杉山 聖子¹、中野 和久²、青山 裕美¹

¹川崎医大、²川崎医大リウマチ・膠原病科

61 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の 1 例

中川 浩一、梁 佳余、東田 理恵
大阪府済生会富田林病院

62 アトピー性皮膚炎として紹介されたびまん性皮膚硬化型全身性強皮症の 1 例

吉田 愛優¹、広瀬 晴奈¹、宮崎 早百合¹、古畑 裕基²、熊谷 直樹²、前田 保乃佳²、
長岡 雄平²、藤島 宣大²、宮崎 周也²、児玉 尚吾³、佐藤 啓輔⁴、財前 拓人⁴、
小山 雄三⁵、西田 陽登⁵、波多野 豊¹

¹大分大、²大分大呼吸器内科、³大分大膠原病内科、⁴大分大循環器内科、⁵大分大病理診断科

63 反復する左上眼瞼の腫脹を契機に診断された成人発症 Still 病の 1 例

齊藤 連¹、安部 文人¹、樋口 哲也¹、酒井 大輝²、西田 藍²

¹東邦大医療センター佐倉病院、²東邦大医療センター佐倉病院膠原病内科

64 皮膚硬化および関節可動域制限を呈し限局性強皮症との鑑別を要した好酸球性筋膜炎の 1 例

長友 京¹、石本 竜聖²、下西 広大²、持田 耕介²、緒方 大²

¹藤元総合病院、²宮崎大

65 当院における重症円形脱毛症に対するバリシチニブ導入 14 例の検討

國岡 順子¹、石原 啓太郎¹、後藤 寛之²

¹鳥取県立中央病院、²大阪公立大

66 EPIFIX[®]を用いて 7 週間で上皮化を得た難治性糖尿病性足潰瘍の 1 例

柴野 穂乃佳、宇野 敢、岩田 紘佳、井波 真矢子、出月 健夫

NTT東日本関東病院

15:45～16:35 **アフタヌーンセミナー 4 「原発性手掌多汗症の治療継続を支える服薬指導の工夫」**

座長：名嘉眞 武國(久留米大名誉教授)

AS4-1 原発性手掌多汗症にどう向き合うか～患者さんの生活を支える治療選択とアポハイド®ローション～

山口 道也

やまぐち皮ふ科 山口県宇部市

AS4-2 アポハイド®ローション 20% が変えた原発性手掌多汗症診療～発売 3 年のリアルワールドから見えるもの～

許 郁江

ほう皮フ科クリニック 岡山県倉敷市

共催：久光製薬株式会社

16:45～17:35 **スポンサードレクチャー 「未来がひろがる乾癬治療を。」**

座長：杉田 和成(佐賀大)
福島 聡(熊本大)

SL1 乾癬性関節炎診療ガイドラインのポイントと TYK2 阻害剤の意義

辻 成佳

日本生命病院脊椎関節炎・リウマチセンター

SL2 全身性炎症疾患 (PsD) としての全身管理とソーティクツの治療ポジション

澤田 雄宇

産業医大

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

17:55～18:45 **イブニングセミナー 2 「クリニック診療におけるレーザー治療の“3本の矢” ～ルビー&ピコ秒&フラクショナルモード搭載 CO2 レーザー～」**

座長：中野 俊二(中野会中野医院)

ES2-1 皮膚科クリニックにおけるルビー・ピコ秒レーザーの活用戦略：保険と自由診療の使い分け

武岡 伸太郎

武岡皮膚科クリニック 香川県丸亀市

ES2-2 スキャナー&フラクショナルモード搭載炭酸ガスレーザーを用いた美容皮膚科治療

立川 量子

セイコメディカルビューティークリニック福岡院 福岡県福岡市

共催：株式会社ジェイメック



会場（ホテルニューオータニ博多 3F ローズルーム）

9:00~10:05

一般演題 3 「蕁麻疹・痒疹」

座長：杉山 晃子(福岡病院)
沼田 智史(広島大)

- 18 血液検査、皮膚テスト共に陰性であったが、臨床的にゴム製品アレルギーと診断しゴム製品を回避することで症状再燃なく経過した 1 例
河野 佳乃子、酒井 貴史、川本 真帆、波多野 豊
大分大
- 19 フキノトウによるアナフィラキシーの 1 例
愛甲 隆成、山北 高志、山田 友菜、杉浦 一充
藤田医大
- 20 アトピー性皮膚炎患者に生じたキヌアアレルギーの 1 例
谷山 智帆、野上 京子、西原 桃子、西川 陽太郎、緒方 大
宮崎大
- 21 アナフィラキシーを呈した α -Gal syndrome の 1 例
諸井 佳菜子、大園 綾花、古賀 浩嗣
久留米大
- 22 無汗症・低汗症を併したコリン性蕁麻疹におけるステロイドパルス療法の効果についての単施設後ろ向き研究
嶋田 奈津実、佐々木 奈津子、澤田 雄宇
産業医大
- 23 診断に難渋し遺伝子検査で VEXAS 症候群の診断に至った 2 例
王 黎重^{1,5}、幸田 太¹、黄 相允¹、今井 絵利華²、石田 素子²、宮村 知也²、高嶋 秀一郎³、居原 毅⁴、一木 稔生⁵、材木 義隆⁶、中原 剛士⁵
¹九州医療センター、²九州医療センター膠原病内科、³九州医療センター血液内科、⁴九州医療センター総合診療科、⁵九州大、⁶金沢大血液内科
- 24 胸腺腫関連多臓器自己免疫症の皮膚病変に対し PUVA バス療法が有効であった 1 例
谷田 優弥¹、坂井田 高志¹、金山 佳史¹、渡邊 大起¹、安井 由希子²、森田 明理^{1,3}
¹名古屋市立大、²豊川市民病院、³名古屋市立大付属西部医療センター
- 25 免疫グロブリン静注療法が乾癬様皮膚症状の制御に寄与した TAMA 症候群の 2 例
長尾 僚祐¹、坂田 伽奈子¹、道満 ゆとり¹、竹中 美結¹、瀧川 充希子¹、藤井 江利子¹、張 劍玲¹、三宅 智子¹、川上 佳夫¹、森実 真¹、市原 英基²、森田 絢子²、野村 恵美³、岡原 修司⁴
¹岡山大、²岡山大呼吸器内科、³岡山大脳神経内科、⁴岡山大麻酔蘇生科
- 26 豆乳含有クリームによる経皮吸収が示唆された大豆アレルギーの 1 例
光井 聖子、横溝 紗佑里、加藤 あずさ、横山 恵美
岡山赤十字病院

10:05~11:05 一般演題 4 「水疱症・膿疱症」

座長：石井 文人(久留米大)
杉山 聖子(川崎医大)

- 27 水疱性類天疱瘡における治療開始時血清 TARC 値と 1 年内再発の関連
北山 祥平、松井 悠、牧野 輝彦、三澤 恵、清水 忠道
富山大
- 28 顔面正中領域から外れた頬部に膿痂疹様局面を形成した落葉状天疱瘡の 1 例—自験例
28 症例の顔面の皮疹の出現部位の検討も併せて—
高木 あまね、加藤 有紀、人見 勝博、福田 知雄
埼玉医大総合医療センター
- 29 結節性類天疱瘡に穿孔性皮膚症を併発した 1 例
小笠原 渚、下田 由莉江、宜野座 淳善、羽尾 まり子、山崎 好美、大山 学
杏林大
- 30 水疱性類天疱瘡に対してデュピルマブ投与後に著明な好酸球増多を認めた 1 例
山本 周平¹、谷田 優弥¹、渡邊 大起¹、吉満 真紀¹、金山 佳史¹、坂井田 高志¹、
中村 元樹¹、森田 明理^{1,2}
¹名古屋市立大、²名古屋市立大附属西部医療センター
- 31 粘膜優位の臨床像を呈した IgM 類天疱瘡の 1 例
村山 友実子¹、土居 礼一¹、野田 美帆²、古賀 浩嗣²、夏秋 洋平¹
¹聖マリア病院、²久留米大
- 32 PSL 高用量で再燃し、デュピルマブが奏効した水疱性類天疱瘡の 1 例
上野 彩夏¹、浦上 仁志¹、湯原 瑞希¹、三原 崇¹、東 耕一郎²、山崎 修¹
¹島根大、²出雲徳洲会病院
- 33 水疱性類天疱瘡の治療中に急性網膜壊死を発症した 1 例
田原 綾¹、山村 健太郎¹、大日 輝記¹、逢坂 理恵²、坊岡 阿紀²、鈴間 潔²
¹香川大、²香川大眼科
- 34 テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム投与後に生じ、自己免疫性水疱症と鑑別を
要した radiation recall mucositis の 1 例
齋藤 尚矢、相樂 千尋、矢野 沙耶香、木村 温子、原 憲司、松本 実か、六戸 大樹、
赤坂 英二郎
弘前大

12:20~13:20 ランチョンセミナー 5 「遺伝性血管性浮腫 (HAE)」

座長：田中 暁生(広島大)

- LS5-1 HAE 診療における発作時早期治療の重要性と経口オンデマンド治療薬がもたらす可能性
大園 綾花
久留米大

- LS5-2 経口オンデマンド薬の希望と展望 ―エクテリーと一緒にうちなーにめんそーれ！！―
宮城 拓也
琉球大

共催：科研製薬株式会社

13:30~14:35 一般演題9 「感染症①」

座長：山田 七子(鳥取大)
広瀬 晴奈(大分大)

- 67 一診療所の動物好性白癬 99 例の集計
野口 博光¹、松本 忠彦¹、久保 正英¹、林 大貴²、柏田 香代²、福島 聡²、加納 壘³
¹のぐち皮膚科 熊本県上益城郡、²熊本大、³帝京大医真菌研究センター
- 68 *Cladophialophora boppii* による深在性真菌症の 1 例
金澤 志保、中村 絵美、有吉 綾香、織田 好子、久保 亮治
神戸大
- 69 水疱性類天疱瘡治療中に発症した *Penicillium* 属による深在性皮膚真菌症の 1 例
荒巻 佳祐、賀嶋 希、長久 大介、脇 裕磨
東京慈恵会医大柏病院
- 70 乳児に生じた大型伝染性軟属腫の 1 例
三浦 理紗、中野 小百合、川瀬 正昭
東京慈恵会医大葛飾医療センター
- 71 HPV125 型が検出された扁平疣贅の 1 例
宇藤 優^{1,2}、矢野 大輔^{1,2}、島村 明里^{1,3}、石山 春菜¹、米山 寿子¹、三石 剛¹
¹さいたま赤十字病院、²順天堂大浦安病院、³獨協医大埼玉医療センター
- 72 Leriche 症候群に先駆して Fournier 壊疽を生じた 1 例
牧野 公治¹、山下 淳二¹、大溝 耕一郎¹、稲葉 かずは¹、河端 真弓²、田中 睦郎³、
岡本 健³、中瀬 啓太⁴
¹熊本医療センター、²熊本医療センター看護部、³熊本医療センター心臓血管外科、⁴熊本医療センター整形外科
- 73 らい反応の病型鑑別に苦慮した MB 型ハンセン病の 1 例
松本 真由子¹、木村 俊寛¹、山村 修司¹、澤村 創一郎¹、宮下 梓¹、福島 聡¹、古荘 晶子²
¹熊本大、²国立療養所菊池恵楓園
- 74 β 溶血性レンサ球菌が検出された当科経験症例の検討
須田 孝博、大塚 倫代、山田 真理子、専徳 健太、駄阿 也真人、安野 秀一郎、
浅野 伸幸、杉本 紘子、下村 尚子、下村 裕
山口大
- 75 マダニ刺症；虫体除去前マダニ科「属」識別
沼原 利彦¹、沼原 紀子¹、矢野 泰弘²
¹ぬまはら皮膚科 香川県三豊市、²元福井大医動物

14:35～15:30 一般演題 10 「皮膚科の多様性」

座長：中島 喜美子(高知大)
足立 孝司(鳥取大)

- 76 界面活性剤による上皮バリア破壊とアレルギー疾患
三田村 康貴^{1,2,3}、Manru Li³、幸田 太^{1,2}、Akdis Cezmi³
¹九州医療センター、²九州大、³Swiss Institute of Allergy and Asthma Research
- 77 多様な性自認を有する患者における皮膚科受診の障壁—患者と皮膚科医の認識差に関する米国横断調査—
松井 悠^{1,2}、清水 忠道¹
¹富山大、²Center for Innovation in Global Health, The University of Chicago
- 78 ネイリスト技能検定試験 3 級について
碁盤 沙弥佳¹、安河内 綾弓¹、和田 康夫²、鯨岡 百合香³
¹赤穂市民病院初期研修医、²赤穂市民病院、³(株) cranberry nail
- 79 ミノール法による発汗領域の定量評価を試みた特発性後天性全身性無汗症の 1 例
坂本 昂、吉田 諭、西原 克彦、八束 和樹、武藤 潤、白石 研、藤澤 康弘
愛媛大
- 80 マツゲの生理学～視能訓練士の視点から～
土手 早貴¹、木下 麻貴¹、和田 康夫²
¹赤穂市民病院眼科、²赤穂市民病院
- 81 炭酸ガス含有疑似セラミド製剤の脛の乾燥症状に対する有用性
原田 涼子¹、松岡 めぐみ¹、清水 映里²、土屋 成輝²、室田 浩之³
¹花王株式会社スキンビューティ第1研究所、²花王株式会社解析科学研究所、³長崎大
- 82 厚生労働省医師統計で見る皮膚科医の変化
古田 淳一
筑波大

15:45～17:45 スポンサーシンポジウム 1 「Type2 炎症性疾患の治療満足度の向上を目指して 病態をよく見て、患者の声をよく聞き、治療戦略をよく考える」

座長：武藤 潤(愛媛大)
波多野 豊(大分大)
古賀 浩嗣(久留米大)

- SSY1-1 アトピー性皮膚炎の病態と患者の未来を踏まえた治療戦略
広瀬 晴奈
大分大
- SSY1-2 結節性痒疹の病態と PRO を活用した治療戦略
小池 雄太
長崎大

- SSY1-3 水疱性類天疱瘡における Type2 炎症抑制意義と新規治療戦略の展望
 青山 裕美
 川崎医大

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

17:55~18:45 **イブニングセミナー 3 「アトピー性皮膚炎における効果的な外用療法について」**

座長：竹中 基(長崎大)
 室田 浩之(長崎大)

- ES3-1 アトピー性皮膚炎における外用治療の重要性とモイゼルトの位置づけ
 鼻岡 佳子
 鼻岡けいこ皮膚科クリニック 広島県広島市

- ES3-2 アトピー性皮膚炎の長期寛解維持における PDE4 阻害薬の役割
 辻 学
 九州大病院油症ダイオキシシン研究診療センター

共催：大塚製薬株式会社

F 会場 (ホテルニューオータニ博多 3F オリーブ)

9:00~9:55 **一般演題 5 「臨床研究」**

座長：仁木 真理子(徳島大)
 鶴田 紀子(福岡大)

- 59 右眼窩内脂肪織炎を主徴とした Weber-Christian 病の 1 例
 浦上 侑子、田中 友美、藤田 周作、石浦 信子、浅越 健治、井出 直宏、岡本 啓典
 岡山医療センター
- 35 日本の乾癬患者におけるインターフェロン- γ 放出試験スクリーニングの臨床的意義：西
 日本乾癬レジストリからの実臨床データ
 鶴田 紀子^{1,2}、今福 信一^{1,2}
¹福岡大、²西日本炎症性皮膚疾患研究会
- 36 乾癬研究におけるリアルワールドデータ利活用
 大湖 健太郎、中島 喜美子、中井 浩三
 高知大
- 37 当院における重症免疫関連有害事象 (irAE) に対する治療の検討
 石井 徹、陣内 駿一、鈴木 結梨佳、小竹 久美子、宮崎 朗、高橋 聡
 国立がん研究センター東病院
- 38 再燃性蜂窩織炎の統計学的検討：再燃部位は多様だが、臨床パラメーターのバリエーショ
 ンは少なくなる
 岡本 修¹、工藤 真亜子¹、甲斐 宜貴²
¹アルメイダ病院、²別府医療センター

- 39 蜂窩織炎長期化群における長期化因子の検討
工藤 真亜子¹、甲斐 宜貴²、岡本 修¹
¹アルメイダ病院、²別府医療センター
- 40 全国アレルギー疾患医療拠点病院調査からみた金属アレルギーの実態
名桐 研人^{1,2}、森桶 聡^{1,2}、徳永 舞²、吉田 幸一²、高橋 雅和²、高橋 亨平²、松原 優里²、
福家 辰樹²、木村 孔一²、野上 和剛²、桑原 優²、伊藤 靖典²、田中 暁生^{1,2}
¹広島大、²厚生労働科学研究「アレルギー疾患の多様性・生活実態を把握するための疫学研究」研究班
- 41 益田赤十字病院皮膚科における乾癬及びアトピー性皮膚炎に対する全身療法開始前の感染症スクリーニング検査の検討
左田野 幹生¹、上野 彩夏¹、金子 栄¹、吉岡 豊道²
¹益田赤十字病院、²益田赤十字病院検査部

9:55~11:00 一般演題 6 「代謝異常、肉芽腫」

座長：指宿 敦子(鹿児島大)
大野 文嵩(九州大)

- 42 特徴的な皮疹分布を呈した pseudoxanthoma elasticum (PXE) の 1 例
中川 智絵¹、小林 友紀^{1,2}、小松 麻衣¹、菅野 恭子¹、岸部 麻里¹、山本 明美¹、藤田 靖幸¹
¹旭川医大、²深川市立病院
- 43 非好発部位である左下腿後面に限局して生じた粘液水腫の 1 例
奥井 爽介、大草 康正
埼玉医大総合医療センター
- 44 右大腿部に生じた特発性限局性脂肪萎縮症の 1 例
長谷川 絢哉¹、佐々木 大和¹、古谷 祐介¹、新屋 光一朗¹、高田 香織²、猪又 直子¹
¹昭和医大、²希望ヶ丘すずらん皮膚科クリニック 東京都大田区
- 45 多形慢性痒疹様の臨床像を呈した Interstitial Granulomatous Drug Reaction の 1 例
梅本 尚可¹、大城 久²、今川 一郎³、前川 武雄¹
¹自治医大さいたま医療センター、²自治医大さいたま医療センター病理部、³今川皮膚科 埼玉県さいたま市
- 46 古典的 Kaposi 肉腫に近接した Annular elastolytic giant cell granuloma の 1 例
谷崎 英里香、白居 駿也、大塚 篤司
近畿大
- 47 口唇・口腔内病変を契機に診断に至ったクローン病の 1 例
福本 孔明¹、梅本 尚可¹、佐藤 雄飛²、大竹 はるか³、前川 武雄¹
¹自治医大さいたま医療センター、²自治医大さいたま医療センター歯科口腔外科、³自治医大さいたま医療センター消化器内科
- 48 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例
山浦 真衣子、大草 健弘、伊藤 雄太、中田 土起丈
昭和医大藤が丘病院

- 49 非露光部を含め広範な皮疹を呈した環状弾性線維融解性巨細胞肉芽腫の1例
鈴木 良亮、森本 広樹、本田 哲也
浜松医大
- 50 皮下血腫を契機に大腸癌および後天性血友病 A が判明した1例
鈴木 琢、佐藤 弘明
横浜総合病院

13:30~14:35 一般演題 11 「腫瘍①」

座長：柳 輝希(琉球大)
鋤塚 大(長崎大)

- 83 臀部に発生した Adnexal adenocarcinoma NOS の1例
横地 花奈美、甲斐 舞子、渡邊 直樹
公立陶生病院
- 84 Sister Mary Joseph's nodule を契機に診断しえた卵巣癌と虫垂癌の2例
久保 斐嵩、加藤 峰幸
東京都立多摩総合医療センター
- 85 領域リンパ節転移を生じた腋窩皮膚原発腺様嚢胞癌の1例
鹿島 慶子、上村 杏奈、高井 彩也華、奥山 奈津子、小高 愛莉奈、阿部 夏実、
井上 禎夫、中村 泰大
埼玉医大国際医療センター
- 86 眼周囲の切除困難な巨大皮膚有棘細胞癌に対し化学放射線療法が奏効した1例
齋藤 隆太、巻口 萌、西澤 綾、後藤 啓介
駒込病院
- 87 転移を有する有棘細胞癌に対しニボルマブが奏効した2例
小宮山 紗代、宮城 拓也、石川 桐子、工藤 真未、下地 志月、柳 輝希
琉球大
- 88 WNT/ β -catenin activated nonpilomatrical carcinoma of the skin の2例
興石 蘭夢¹、神野 泰輔¹、森実 真¹、谷口 恒平²
¹岡山大、²岡山大病理診断科
- 89 胆嚢癌に伴う Sister Mary Joseph's nodule の1例
小野寺 翔子、光井 康博、正嶋 千夏、長谷川 文子、西村 友紀、浅田 秀夫、新熊 悟
奈良県立医大
- 90 Bowen 病を伴った Wnt/ β -catenin activated nonpilomatrical carcinoma
佐々木 雅子¹、日置 紘二郎¹、田中 了¹、青山 裕美¹、塩見 達志²
¹川崎医大、²川崎医大病理学

91 PAK2 遺伝子転座を認めた folliculosebaceous porocarcinoma in situ の 1 例

草野 紗瑛¹、村田 光麻¹、和田 吉弘¹、後藤 啓介²、小川 浩平³、長谷川 国大⁴、
大江 知里⁴、金澤 伸雄¹

¹兵庫医大、²兵庫県立がんセンター病理診断科、³市立奈良病院病理診断センター、⁴兵庫医大病理学・病理診断部門

14:35~15:40 一般演題 12 「腫瘍②」

座長：田中 了(川崎医大)
内 博史(九州がんセンター)

92 皮膚悪性腫瘍に対するがん遺伝子パネル検査の検討

陣内 駿一、小竹 久美子、鈴木 結梨佳、石井 徹、宮崎 朗、高橋 聡
国立がん研究センター東病院

93 術後 4 ヶ月で骨髄癌腫症を呈した母趾悪性黒色腫の 1 例

藤田 佳穂里、西原 克彦、黒尾 優太、吉田 諭、八束 和樹、武藤 潤、白石 研、
藤澤 康弘
愛媛大

94 ニボルマブが奏効した進行期陰部乳房外パジェット病の 1 例

北川 彪雅、北川 敬之、水谷 有希、水野 彩加、中山 裕一、波部 幸司、山中 恵一
三重大

95 悪性黒色腫と異型母斑の鑑別を要した 1 例

石本 竜聖¹、西原 桃子¹、持田 耕介¹、檜原 進一郎²、平木 翼³、前川 和也⁴、
佐藤 勇一郎⁴、緒方 大¹

¹宮崎大、²ならはら皮膚科医院 宮崎県都市、³静岡がんセンター病理診断科、⁴宮崎大病理診断科

96 リンパ浮腫関連血管肉腫の 2 例：がん遺伝子パネル解析と免疫組織学的検討

大城 結衣、大平 葵、宮城 拓也、山口 さやか、柳 輝希
琉球大

97 5-FU 軟膏が in-transit 転移に奏効した足底悪性黒色腫の 1 例

湯原 瑞希¹、吉田 貴弘¹、三原 崇¹、上野 彩夏¹、福代 通人¹、松本 香奈枝¹、
小池 貴之^{1,2}、新野 大介³、鈴木 久美子⁴、山崎 修¹

¹島根大、²加藤病院、³島根大病理診断科、⁴皮フ科鈴木クリニック 島根県松江市

98 長期生存している乳房血管肉腫の 2 例

西村 輝¹、吉田 諭²、西原 克彦²、八束 和樹²、武藤 潤²、白石 研²、藤澤 康弘²

¹愛媛大総合臨床研修センター、²愛媛大

99 足底 primary dermal melanoma の 1 例

岡崎 堯子¹、飯野 志郎¹、小高 愛莉奈¹、西村 健太郎¹、馬場 夏希¹、小林 知子¹、
尾山 徳孝¹、長谷川 稔¹、片山 外大²

¹福井大、²つくし野病院 福井県福井市

100 右耳介悪性黒色腫に対する Pembrolizumab 投与により生じた capillary leak syndrome の 1 例

浅野 伸幸¹、青木 裕宇希¹、須田 孝博¹、下村 裕¹、高須 啓之²、村川 慶多³

¹山口大、²山口大形成外科、³山口大呼吸器・感染症内科

16:40～18:40 日本皮膚科学会「キャリア支援委員会」企画：メンター&メンティーの相談会(M&M) 「専門研修プログラムと一緒に乗り越えよう！～医師 3 年目のハードルの先に～」

【前半】レクチャーの部

1. ミニセッション
2. アンケート発表：医師 3 年目のハードルのじったい
3. うまさんの部屋へようこそ～今年もやります！～

【後半】相談会の部

キャリア支援委員会 西部支部 M&M 相談会企画 WG

一木稔生(九州大)、馬屋原孝恒(川崎医大)、佐々木奈津子(産業医大)、佐藤絵美(福岡大)、宮下梓(熊本大)、山田七子(鳥取大)